

# 公共下水道事業特別会計状況調書

## I 事業概要

昭和56年度から公共下水道の整備に着手して以来、積極的に事業の推進に努め、平成18年度の普及率は約88%となる見込である。

今年度については、登別東町、登別本町のうち約41.6haの整備を図り、年度末には整備面積約1,040.7ha、普及率は約89%を予定している。

若山浄化センターについては、平成2年の供用開始から15年を経過しており、老朽化した設備機器の更新を行なう。

公共下水道による整備区域以外の区域として区分した個別排水処理区域については、住民の要望に基づき市が浄化槽を設置・維持管理する「個別排水処理施設整備事業」を平成16年度から実施しており、平成19年度についても引き続き実施する。

## II 事業内容

1 下水道事業費	.....	2,755,912 千円
(1) 投資的事業費	計	1,078,421 千円
①下水道管渠整備事業費		992,321 千円
・汚水管渠（補助）		378,000 千円
登別東町・登別本町	φ150～400m/m L=2,540m	
・汚水管渠（単独）		614,321 千円
登別東町・登別本町	φ150m/m L=5,550m	
②終末処理場整備費	.....	86,100 千円
補助 若山浄化センター設備機器改築更新		86,000 千円
単独		100 千円
(2) 経常経費	計	1,677,491 千円
一般管理費		137,959 千円
維持管理費		61,941 千円
浄化センター費		171,168 千円
排水設備促進費		8,860 千円
公債費償還経費		1,296,563 千円
予備費		1,000 千円
2 個別排水処理施設整備事業費	.....	16,788 千円
(1) 投資的事業費	個別排水処理整備費	12,600 千円
(2) 経常経費	個別排水処理管理費	3,317 千円
	公債費償還経費	871 千円

公共下水道事業費合計（1+2）                      2,772,700 千円

【個別排水処理施設整備事業】

○概要

下水道整備が後年次となる上登別地区、登別温泉地区等及び下水道整備計画区域外の市内全域

【個別排水処理区域】についての生活排水処理を合併処理浄化槽により実施する。

【個別排水処理区域】

カルルス町・上登別町・登別温泉町・札内町・富浦町・来馬町・鉾山町・川上町の全地域。

中登別町・登別東町・登別港町・新栄町・幸町・千歳町・常盤町・柏木町・片倉町

青葉町・緑町・若山町・富岸町・鷺別町・上鷺別町の一部の地域。

○内容

- ・事業手法 個別排水処理施設整備事業(総務省所管起債事業)
- ・対象家屋 専用住宅、店舗併用住宅、共同住宅、事務所
- ・設置方法 住民の要望により市が浄化槽を設置する
- ・管理方法 保守点検、法定検査、修理等については市が行う
- ・住民負担 浄化槽設置費の1割と、浄化槽稼働に伴う電気代  
浄化槽使用料金(下水道使用料と同一計算)
- ・市負担 浄化槽設置費の9割と、維持管理費

○平成19年度計画

設置費	@1,260千円×10基=12,600千円
維持管理費	@77.7千円×42基≒3,267千円
利子補給(融資あっせん)	50千円
その他(旅費・償還利子)	871千円
計	16,788千円

III 公共下水道事業特別会計歳入歳出予算年度別内訳

(歳入)

(単位:千円)

科 目	平成17年度当初予算	平成18年度当初予算	平成19年度当初予算
分担金及び負担金	183,385	162,771	138,857
使用料及び手数料	468,492	509,899	532,898
国庫支出金	396,900	613,300	232,000
繰入金	813,922	748,869	740,653
繰越金	1	1	1
諸収入	22,000	4,660	24,591
市債	899,200	1,127,600	1,103,700
合 計	2,783,900	3,167,100	2,772,700

(歳出)

(単位:千円)

科 目	平成17年度当初予算	平成18年度当初予算	平成19年度当初予算
下水道費	1,679,131	1,960,798	1,474,266
公債費	1,103,769	1,205,302	1,297,434
予備費	1,000	1,000	1,000
合 計	2,783,900	3,167,100	2,772,700